



千代

- 玉島を隠す浦戸の大夕立
- 老人に二匹は淋し金魚鉢
- 海へ向くコート三面夏燕

水槽の金魚は海の夢をみる
換気してキルスも徹もよせつけず
半夏生我を直撃物価高

美貴

文子

- 金魚孵化させし弟もういない
- 間に合うかしら夕立の軒下つぶやきぬゆたち
- 白百合のぽっと咲き初む雨あがり

夕立がきて底抜けに明るい日
金魚にもジツと見られる老いし顔
夕立ちに流して欲しきことのあり

弘

志津子

富子

農子

- 小さく鳴る妣の土産の鉄風鈴
- 夕立やたちまち庭木は青々と
- 木の陰の池の金魚や赤く群れ

いいのかなあんなに攻めて金魚掬い
マスクしてせて目と眉夏化粧
鮎金魚祭りの夜のまま元氣

郁子

初江

- はいからな楽天市場の金魚玉
- 「五匹捕れたら一匹ね」金魚選る
- 大夕立又も行き先違うバス

○手も足も拾って起きる夏の朝

酔花

○黒猫の紐のごと仲ぶ夏の朝

えり

○腹で浮きまるまる金魚ゆめうつつ

夕立に自転車こいで泣き笑ひ
山頭火ないて見送り法師蟬



- 話尽きただ掻き回すソーダ水
- 絵に描いた翁の如く竹似草
- 蝉時雨フラッシュバックする記憶

手遊びの金魚に跳ねる学童ら
夕立やかかるかもしれぬ虹を待つ
「氷点」の陽子も死せり蟬が鳴く

味元 昭次 作品

夕立のあと国葬の闇が来る
金魚鉢勤続三十五年の日々
出目金が死んでも国葬にはしない

★次回市民句会

【開催日時】

令和四年九月二十八日(水)
午後一時十五分〜午後四時(予定)

【場所】

オーテピア4階 研修室

どなたでも自由にご参加いただけます